学校番号	207

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし，生活や社会の中の多用な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成します。
- 一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・素材などに着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
- 合評を通して完成作品のプレゼンテーションや相互鑑賞をおこないます。言語活動を通して自身の作品について発表する力つけましょう。
- 完成した作品を本校開催の美書展に展示・鑑賞し、個性の違いを認め合い、ものの見方感じ方を広げましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	身近な素材で作品をつくろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・学習内容、評価について ・新聞紙や段ボール等の身近な素材で作品を制作する ・自画像(段ボール) ・立体構成(紙粘土) ・合評 ・振り返りシート	a:構図や表情、全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして表している。 a:形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:意図に応じて、材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 b:対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に造形制作表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート

2学期	卒業制作	【立体】【鑑賞】 ・2 学期を卒業制作期間とし、主に立体の卒業制作作品を制作する。 ・計画表と振り返りシートにより自ら毎回の授業を振り返り、今後の見通しを立て、長時間の制作を計画的に行う。 ・合評	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 a:表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 b:作業工程を理解し、想像しながら見通しを持って制作している。 c:美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート
3学期	デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・美書展鑑賞 ・基礎デッサンを中心に行う。 ・ものをみる視点や順序立てたデッサンの工程を学ぶ。 ・明暗や質感の捉え方、遠近感等の表現力を養う。 ・合評 ・振り返りシート	a:造形の要素の働きを理解している。 a:造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b: 対象を見つめて、形体の特徴 をつかみ、構図などを工夫している。 b: デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 c:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作　品 鑑賞・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度